

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳牧場	所管課	畜産課
所在地	本場:北杜市小淵沢町大平10061 天女山分場:北杜市大泉町西井出	設置年月日 (改築年月日等)	昭和43年4月1日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県子牛育成協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳牧場の設置及び管理に関する条例		
設置目的	農家家畜を受託放牧するとともに、県有牛を改良増殖し繁殖牛・肥育素牛を供給し、もって本県の畜産振興に資することを目的とする。		
主な施設内容 (定員等)	本場:事務所(250㎡)、看視舎(148㎡)、分娩牛舎(390㎡)、追込牛舎(918㎡)、ほ育牛舎(266㎡)、育成牛舎(581㎡、1,080㎡)、乾草庫(169㎡)、たい肥舎(150㎡)、たい肥化处理棟(1,811㎡)、農機具庫(292㎡、156㎡)等 天女山分場:事務所(33㎡、8㎡、50㎡)、避難舎(162㎡、162㎡)、農機具庫(162㎡)、農機具庫・衛生検査施設(73㎡)等		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 家畜の飼養管理及び改良増殖に関する業務 牧草の栽培に関する業務 家畜排せつ物のたい肥化に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	なし
---------------------	----

3 利用状況

単位:人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	受託頭数	113,638	121,711	125,948	
	利用者数合計	113,638	121,711	125,948	
	目標値	110,000	110,000	110,000	110,000
	目標値設定の考え方及びその理由	基本協定書の利用料収入計画に基づく頭数	基本協定書の利用料収入計画に基づく頭数	基本協定書の利用料収入計画に基づく頭数	基本協定書の利用料収入計画に基づく頭数
	対24年度比	100.0%	107.1%	110.8%	96.8%
稼働率		103.3%	110.6%	114.5%	

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	44,791,310	41,792,000	46,797,920	41,792,000
	指定管理者委託料	189,653,000	199,140,000	199,140,000	194,575,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	234,444,310	240,932,000	245,937,920	236,367,000
支 出	人件費	139,499,888	149,329,000	143,562,227	145,132,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	94,078,086	91,603,000	97,046,953	91,235,000
	うち外部委託費(B)	1,973,723	1,933,000	2,249,003	1,933,000
	支出合計(C)	233,577,974	240,932,000	240,609,180	236,367,000
収支差額(A-C)		866,336	0	5,328,740	0
外部委託比率(B÷C)		0.8%	0.8%	0.9%	0.8%
利用者一人当たりの経費		1,558.2	1,810.0	1,581.1	1,768.9

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成27年1月～27年3月、実施方法：平成26年度の預託利用者及び売却牛と堆肥の購入者へのアンケート(聞き取り調査)、回答数：46人
-------	-------------------------------------------------------------------------

単位：%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
家畜の受託に対する満足度	98.9%	0.0%	1.1%	0.0%
県有家畜の売却に対する満足度	95.0%	0.0%	5.0%	0.0%
堆肥の売却に対する満足度	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%
各項目の平均	95.7%	2.3%	2.0%	0.0%

<p>利用者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預託 育成牛を預ってもらえ授精してくれる体制はとても助かる。性判別精液、黒毛和種受精卵の活用推進を希望。受胎成績は良い。預託施設を増設し受入頭数を増やしてほしい。</li> <li>・売却牛 売却頭数を増やしてほしい。良い血統の雌牛を売却してほしい。</li> <li>・堆肥 電話対応良く堆肥品質にも満足。軽トラの小口販売は便利で都合がよい。配達時間等の対応親切、今後もお願いしたい。</li> </ul>
<p>利用者の意見への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預託 受託家畜を健康に育成すべく日常の飼養管理に取り組む。良質な牧草を生産し発育向上に努めるとともに性判別精液や受精卵移植等利用者の要望に応え全頭の受胎を目標に繁殖管理を強化・充実する。</li> <li>・売却牛 血統と育種価を考慮し、受精卵移植技術を活用しながら県有牛の一層の改良を進めるとともに、良質粗飼料給与や飼養管理技術の向上により、個体差を少なくし全体のレベルアップを図っていく。</li> <li>・堆肥 より品質の高い堆肥の安定生産を継続していく。</li> </ul>

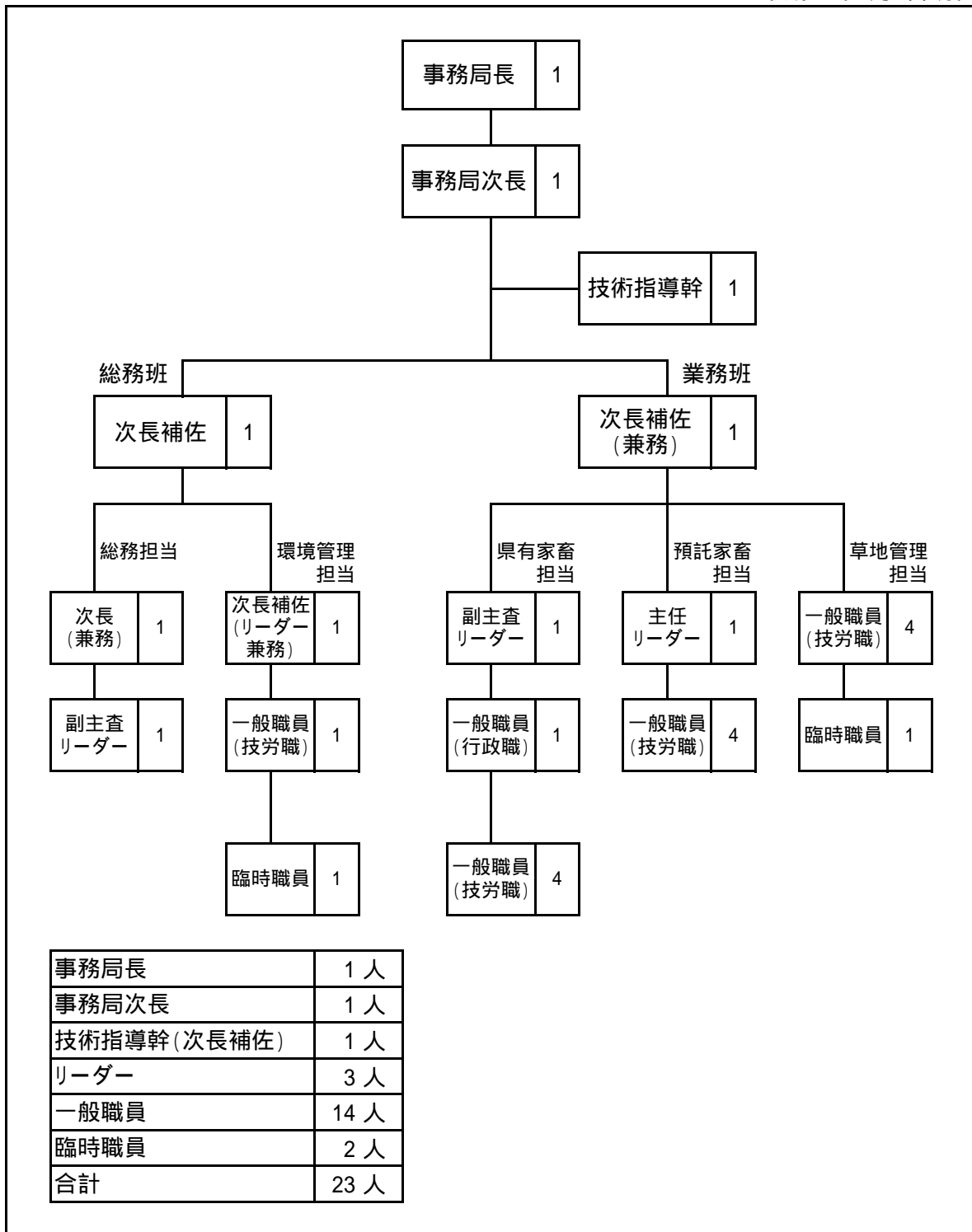
## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
<p>維持管理業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正に実施し車両・農機具の保安全管理に努めるとともに、修理はできる限り自前で対応し修理費用の節約に努めたが、多くは耐用年数の超過による故障の多発で修繕対応に追われているため、計画的な更新が必要である。また、分娩牛舎の早急な改修工事が必要である。</li> <li>・引き続き、獣害対策として原材料を購入し自家施工によりシカの食害防止対策を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き適切な保安全管理に努めるとともに、修繕については可能な範囲で行なうこと。</li> <li>・牧草のシカ食害防止対策を実施し、効果が出ていることは大変評価できる。今後とも獣害対策に努めてもらいたい。</li> </ul>
<p>運營業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良種雄牛の交配に努め、生産子牛を目標以上に供給した(供給目標:130頭 実績152頭)。</li> <li>・家畜の受託延べ頭数は目標及び前年実績を上回った。今後もさらなる利用頭数の拡大に努める。</li> <li>・簡易的草地更新に取り組んでおり、土壌分析結果を参考にした肥培管理や設置した害獣防護柵の効果により貯蔵粗飼料生産量は対前年比113%で計画の91%まで回復している。</li> <li>・県有牛の売却農家巡回調査指導業務、家畜改良増殖業務(酪農試験場への供卵牛供給、牧場での採卵)は適正に実施した。</li> <li>・堆肥販売は敏速な対応に努め、計画量の129%を販売した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標以上に生産子牛を供給できたことは大変評価できる。引き続き、県有家畜の適正な管理に努め、生産子牛頭数を確保すること。</li> <li>・受託頭数が目標を達成し、また前年実績を上回ったことは大変評価できる。引き続き、利用頭数確保に努めること。</li> <li>・草地については、回復に向け引き続き適切な管理を行われたい。</li> <li>・県有牛売却先農家への飼養管理指導や酪農試験場への供卵牛供給等は、県内の肉用牛振興を推進する上で評価できる。今後ともより一層の県有家畜改良業務に推進されたい。</li> <li>・堆肥販売は、引き続き迅速、丁寧な対応に努めるとともに、利用農家の拡大に努めること。</li> </ul>
<p>自主事業</p>		

利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用者の開拓や積極的な中途入牧の受入等により、受託頭数は目標及び前年実績を上回った。今後も利用頭数の確保に努めるが、飼養施設・糞尿処理施設等の増設や粗飼料の確保が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な努力により、受託頭数が目標及び前年実績を上回ったことは大変評価できる。引き続き、積極的なPR活動を行い、受託家畜頭数の目標を達成し、またそれ以上に伸ばせるよう努めること。</li> </ul>
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入は計画を上回ることができた。</li> <li>・支出合計はほぼ計画通りであったが、需用費の増加を人件費の削減により補っている状況である。</li> <li>・今後も飼料価格高騰による更なる負担増が懸念されるが、原材料費については、肥料価格の入札要件見直し等により削減が図られた。</li> <li>・修繕費は自己修理により経費削減を図っているが、計画の50%増であった。</li> <li>・施設・車両機械ともに老朽化が進み、安定経営のためにも車両・機械等の計画的な更新を県に要望していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入が計画を上回ったことは高く評価できる。</li> <li>・飼料・肥料価格高騰や車両・機械等の老朽化に伴う修繕費が経営の不安材料となっているので、更新等含め検討していきたい。</li> <li>・引き続き、経費の削減について努力されたい。</li> </ul>
利用者満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からは預託牛の発育向上や売却牛の資質の向上等、より高いレベルが求められており、善良管理と更なる技術力向上に努め、満足度を一層高めていきたい。冬期預託の受入頭数拡大や売却頭数の増頭については、施設増設や粗飼料確保が必要となるため、県とともに実現の可否を検討していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からは概ね高い満足度が得られているが、預託牛の発育向上や県有牛の資質向上には多くの要望が上げられているので、これらのことについては引き続き改善に取り組まされたい。</li> </ul>
運営目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜の年間受託延べ頭数は12万5,948頭で、目標(11万頭)及び前年度実績(12万1,711頭)を上回り、達成率は114.5%で、目標以上が達成されている。</li> <li>・生産子牛の供給頭数は152頭で、前年実績(154頭)並みで目標(130頭)を上回り、達成率は116.9%となっている。</li> </ul>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種業務は適正に実施されており評価できる。</li> <li>・引き続き、家畜の年間受託延べ頭数を確保するよう努めること。</li> <li>・利用者の要望に応えながら、家畜受託、売却子牛生産、堆肥生産等に努めること。</li> </ul>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き各業務を適正に実施している。</li> <li>・預託業務を農家に周知・PRして新規利用農家を開拓し、預託牛の管理サービスを強化・充実させることで、受託頭数の確保に努めている。また、適切な施肥を行い、有害獣対策も行うなどして、放牧草地の適正管理と良質な自給飼料確保に努め、効率的な県有牛の飼養管理を行っている。</li> <li>・利用者からは、性別別精液や受精卵移植の活用等、発育の向上や生産子牛の資質・増体の向上等が求められており、これらの要望に応えるべく繁殖に対するサービスの強化充実とともに、飼養管理技術の向上にも努めている。</li> </ul>	

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在



事務局長	1人
事務局次長	1人
技術指導幹(次長補佐)	1人
リーダー	3人
一般職員	14人
臨時職員	2人
合計	23人